

科目名	情報処理/情報入門2				
担当教員名	神保 雅人				
学部等	サービス創造学部	開講学期	2024年度秋学期		
ナンバリング	SI-INF1001	学年	1年	単位	2単位
講義名	情報処理/情報入門2				
先修科目	情報入門/情報入門1				

この授業を通じて身につける<CUC 6つの能力要素>		(主として身につけるもの「◎」を1つ、身につけるもの「○」を2つ以内)			
専門的な知識・技能	◎	普遍的な知識・技能	○	相互理解・コミュニケーション力	
チャレンジ精神・実践力		主体性・責任感		社会規範意識・誠実さ	
CUC6つの能力要素詳細	https://www.cuc.ac.jp/about_cuc/educational_policy/ability/index.html				

科目概要

ビジネスの現場においては、提案を行う際に様々なプレゼンテーションが行われているが、説得力ある資料の作成には、各種のデータ分析に基づいた、目的に適ったグラフの提示が欠かせない。この科目の授業では、ノート型PC上で、Excel及びPowerPointを用いた演習を通じて、経営判断に用いられる実践的なデータ分析の基礎的な手法を学ぶ。

科目の到達目標

目的に応じたデータ分析を行えるようになること。また、グラフから読み取れる事柄を、定量的に理解出来るようになること。

授業の特徴（指定科目のみ掲載）

履修上の注意

授業ではExcel及びPowerPointを利用して演習課題を作成するので、ノート型PCは必須である。Web版のExcel及びPowerPointでは機能制限があって、演習課題を作成する際に支障をきたすので、必ずMicrosoft 365 (Office)をノート型PCにインストールしておくこと。

情報入門の様な基礎を学ぶ科目ではなく応用編の科目なので、ExcelやPowerPointの操作方法については事前に充分習熟している必要がある。また、授業担当者の説明を前提とした教材作りをしているので、特別な事情がない限り、遅刻や欠席をしないことが求められる。なお、課題は原則として授業内に提出するものとする。やむを得ない事情で欠席した場合には、教材を自習し、授業担当者の許可を得た上で、課題を提出すること。

実務経験を活かす授業		実務経験内容等	
------------	--	---------	--

ICTを活用する授業

資料や課題を配信するためにWebシステムを活用する	○	教員と学生の連絡でCUC PORTAL等を活用する	○	その他	
---------------------------	---	---------------------------	---	-----	--

データを活用する授業

データ分析を行う	○	外部機関（企業等）のデータ活用する		その他	
----------	---	-------------------	--	-----	--

アクティブ・ラーニングの要素

グループワーク		プレゼンテーション		実習、実技、フィールドワーク	○
PBL（課題解決型学習）		双方向型学修（クリッカー等）		ディスカッション・ディベート	
反転授業		その他			

授業計画

授業回	各回の概要	各回の事前事後学修	事前事後学修時間
第1回	ゴールシーク、シナリオ	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第2回	ソルバーによる最適解	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第3回	プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。	3.5時間

		事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	
第4回	アンケート結果の解析	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第5回	価格弾力性の分析	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第6回	回帰分析	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第7回	Zチャートによる傾向分析	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第8回	ファンチャートによる比率の傾向分析	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第9回	パレート図によるABC分析	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第10回	損益分岐点、利益図表	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第11回	交差比率、利益貢献比率	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第12回	業績管理 (1) 予算管理、業績管理	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間
第13回	業績管理 (2) 費用管理	事前：教材に目を通しておく。用語について調べる。 事後：授業で学んだ手法を繰り返し練習する。	3.5時間

成績評価の方法	理解度確認用の質問への回答(10%)、授業内提出課題の完成度(90%)
課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法	授業内提出課題に対するフィードバックは、授業内で直接コメントすることで行う。
テキスト・教科書	授業担当者の自作教材
参考文献	平井明夫 著、『Excelビジネスデータ分析 徹底活用ガイド[Excel 2019/2016/2013対応]』、技術評論社 (2019) 日花弘子 著、『Excelで学ぶデータ分析本格入門』、SBクリエイティブ (2019)